

算数・数学の楽しさを子どもたちに実感させたい

「数楽チャレンジ大会」

小・中・高・大の連携を生かして

新城市立舟着小学校長 伊藤 智明

新城市では、やる気を育てるアクティ
ブ事業として「数楽チャレンジ大会」を
行っています。小学校高学年から中学生
を対象に、授業とは違った算数・数学の
問題に挑戦することを通して、子ども
やる気を促すことがねらいです。小中学
校・高校・大学の先生と市教委担当の16
名で実行委員会を組織しています。

本年度は12月8日(土)に新城東高校を会
場として、第21回大会を実施したところ、
小学生47名、中学生58名の計105名が
参加しました。参加者は、午前9時半か
ら最大午後2時20分まで「問題を解く」
ことと「体験コーナー」の両方に取り組
みました。

黙々と問題解決に取り組む場

今回は小学生問題1問、小中共通問題
5問、中学生問題1問の計7問を出題し
ました。内容は、両替問題、覆面算、ぶ
どう算、鏡の再起反射、飯田線のダイヤ
グラム等、場合の数の基本問題やパズル
的な問題、実生活に関わる問題です。私
たちが目指している「考えることが楽し
い問題」や「何か新しい発見がある問題」
に近づくことができたかどうか、解答用
紙に書かれた子どもたちの考え方を把握
しながら評価していきたいと思いま

数学的な体験活動を楽しむ場

愛知教育大学の小谷先生のご協力によ
り、体験コーナーの企画・運営をゼミ生
が行っています。今回は『ストロー正多
面体』『ドーンと世界一周』正確に測ろ
う』『15パズルで遊ぼう』等のスピー
ドや正確さを競ったり、立体模型を作っ
たりする活動でした。夢中になって取り
組む子どもたちの真剣な表情や笑顔がた
くさん見られ、初対面同士でも会話を弾
ませている子どももいました。

子どもたちの声を励みとして

帰る子どもたちから「すごく楽しかつ
た」という言葉を聞くことが何よりの喜
びです。「難しかった」という感想を聞
くこともあり
ます。こうし
た率直な感想
を励みや反省
点としながら、
問題づくりを
工夫し、参加
者の意欲を引
き出す大会に
していきたい
と考えていま
す。

